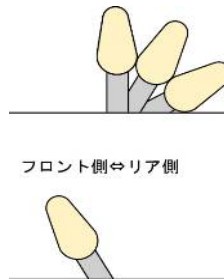


SONIC ORIGINAL TURBO BLENDER-4 DOMESTIC (METRIC)

“ターボ・ブレンダー・4”は、3シングル・コイルのストラトキャスターの外見はまったく変えないまま、またオリジナルのサウンドを損なわないまま、太くウォームなトーンも得られるギターに変身させるためのサーキットです。取り付けることにより、コントロールはマスター・ボリューム／マスター・トーン／ターボ・ブレンダーとなります。ボリュームとトーンにはSonicフルアップ・ポットを使用していますので、フルテン時にはボリュームとトーン回路が完全にバイパスされ、ロスのないクリアな音質が得られます。

ターボ・ブレンダーのコントロールは10(フル)の時にノーマル(普通のストラトキャスターと同じ)です。PUセクターSWがリア／リア+センター／センター(右図上)の時にブレンダーを絞っていくと、ノーマル・サウンドにフロントPUの音がシリーズ(直列)でブレンドされます。この“シリーズ”がミソで、パラレルでミックスした場合(ハーフ・トーン)と違い、サウンドは確実に太くパワフルに変化します。

PUセクターがフロントの時はブレンダーは働きませんが、フロント+センター(右図下)の時にはブレンダーを絞っていくとセンターPUの音が徐々にキャンセルされるように働きます。

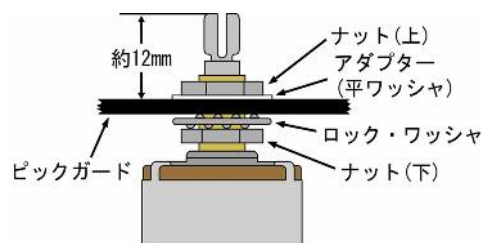


取付方法

- ①ピックガードをはずして裏返し、ジャックからの線(2本)、ブリッジ・アースの線、各ピックアップからの線(6本)のハンダ付けをはずし、オリジナルのポット及びスイッチをピックガードから取り外します。各ワイヤーの付いていた場所を記録しておくこと間違いを防げます。
- ②ターボ・ブレンダー・4の各パーツをピックガードに取り付けます(下図参照)。
- ③フロント・ピックアップのコールド・ワイヤー(黒)はラグ板のアース端子にハンダ付けします。センターとリア・ピックアップのコールド・ワイヤーは2本まとめてラグ板のもう一つの端子に接続します(下図参照)。
- ④各ピックアップのホット・ワイヤー(白)はセクターSWの各ポジションにハンダ付けします。ピックアップのポジションとスイッチの端子のポジションは逆なので要注意(下図参照)。
- ⑤ジャック、ブリッジ・アースの線を下図のように配線し、ピックガードを元に戻します。この時、各ワイヤーをピックガードとボディの間に挟まないように気を付けてください。

注意

- 取り付けに自信がない場合は、販売店などにご相談ください。
- ハンダ付け作業で熱を加えすぎると、パーツが破損することがありますのでご注意ください。
- このサーキットはフェンダー・ジャパンのストラトキャスター(一部の機種を除く)用に作られています。他のギターにも取り付けられますが、加工が必要な場合があります。また、配線材の色がこれと異なる場合があります。



ポットをピックガードに取り付ける場合は、上の図のようにナットとワッシャを使用して下さい。

株式会社ラムトリックカンパニー
<http://lumtric.com>
 Phone 048-224-7915
 Fax 048-224-7928

